

# 代表質問

以下、会派名称略  
自由民主党・県民会議(自民)、みやぎ県民の声(県民の声)、日本共産党宮城県議員団(共産)、公明党県議団(公明)、立憲・無所属クラブ(立無ク)、21世紀クラブ(21世紀ク)、日本維新の会(維新)

代表質問の様子



■ 令和6年9月26日

代表質問では、「宿泊税」に関することや「4病院・医療」について、多くの議員が議論を交わしました。

# 代表質問・一般質問とは？

## 代表質問について

- ・ 2月と9月に5人以上の所属議員を有する会派の代表が行います。
- ・ 持ち時間は40分で、答弁を含めて、概ね80分で行われます。

## 一般質問について

- ・ 議員個々の立場から行います。
- ・ 持ち時間は30分で、答弁を含めて、概ね60分で行われます。
- ・ 質問者の人数、会派等への割振り及び質問順位は定例会ごとに決定されます。



## 質問 知事の政治姿勢について

5期目の任期が残り1年となった現時点において、この19年間を振り返り、知事自身どのような所感を持っているのか。

## 知事 富県宮城を推進し、県民の方が安心して暮らしていけるよう、その折々に最善を尽くしてきた と回答

知事就任以来、東日本大震災や新型コロナウイルス感染症など多くの困難があったが、富県宮城を推進し、県民の方が安心して暮らしていけるよう、その折々に最善を尽くしてきた。また、昨年9月からは、全国知事会会長として、人口減少等の困難な課題に全国の知事と共に取り組んでいる。

引き続き、県民並びに県議会の方の意見をよく伺いながら、「新・宮城の将来ビジョン」に掲げる将来像の実現を目指して、しっかりと取り組んでいく。

その他の質問 地方振興の課題について/  
健康と福祉について/  
半導体工場誘致に伴う課題について/  
一次産業の振興について/  
子供たちの課題について



録画



渡辺勝幸議員  
(自民)



議員名簿

# 質問 村井知事の政治姿勢と5期20年を迎える県政運営の検証とその対応について ～宿泊税導入について～

宿泊税は、法定外目的税制度の前提として、必要とする特別な財政需要を示されていないこと、住民の十分な理解を得られていないこと、具体的なビジョン及び計画、宿泊事業者、住民の合意形成がなされていないことから、9月定例会での提案を取り下げ、継続した検討を行うべきであるがいかがか。

## 知事 宿泊税を活用した取組を展開し、インバウンド需要の更なる取り込み等を図るため、今議会で宿泊税条例議案を提案した と回答

交流人口の減少、ゴールデンルートへの一極集中、仙台市が宿泊税を活用した更なる誘客を推進することによる他地域との格差拡大等のおそれがある。

こうした懸念を払拭するため、宿泊税を活用した取組を展開し、インバウンド需要の更なる取り込み等を図ることが必要であり、仙台市と一体となって、県への誘客を強力に押し進め、さらに県内全域に送客する取組が、今まさに必要不可欠であると考え、今議会で宿泊税条例議案を提案したものである。

録画



その他の質問 旧優生保護法における被害者の全面解決に向けた取組について



ゆさみゆき議員  
(県民の声)



議員名簿



金田もとる議員  
(共産)



議員名簿

## 質問 「宿泊税」導入提案は撤回を

宿泊税の導入に当たり、納税者と宿泊事業者の納得と理解は不可欠である。宿泊事業者向け説明会や、知事自らが出席した県民向け説明会での事業者や県民の声、そして「拙速な導入反対、慎重審議」を求める各首長の指摘や各議会からの意見書・要望を重く受け止め、「宿泊税条例」案は取り下げるべきであるがいかがか。

## 知事 宿泊税を活用した取組を展開し、インバウンド需要の更なる取り込み等を図ることが必要なため、条例議案を提案した と回答

交流人口の減少、ゴールデンルートへの一極集中、仙台市が宿泊税を活用した更なる誘客を推進することによる他地域との格差拡大等のおそれがある。

こうした懸念を払拭するため、宿泊税を活用した取組を展開し、インバウンド需要の更なる取り込み等を図ることが必要であり、仙台市と一体となって、県への誘客を強力に押し進め、さらに県内全域に送客する取組が、今まさに必要不可欠であると考え、今議会で宿泊税条例議案を提案したものである。



録画

その他の質問

4病院再編など当事者無視の県政運営の転換を／  
女川原発2号機再稼働は断念せよ／JSMC半導体工場誘致について／  
農業支援策の強化、営農意欲をつなげる鳥獣被害対策を